

新島の火山活動解説資料(平成27年10月)

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報(活火山であることに留意)の予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況(図2)

式根遠望カメラ(丹後山の西南西約4km)による観測では、丹後山山頂部に噴気は認められません。

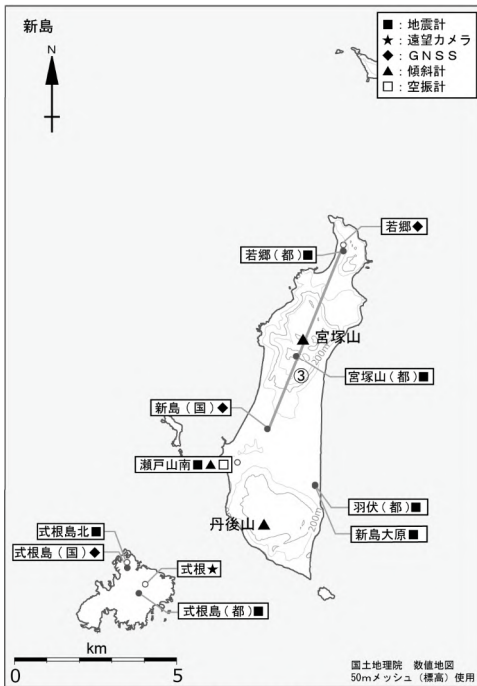
・地震や微動の発生状況(図3 - 、図4)

新島付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況(図1、図3 -)

GNSS注)連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注)GNSS(Global Navigation Satellite Systems)とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国): 国土地理院、(都): 東京都



図2 新島 丹後山山頂部の状況
(10月27日、式根遠望カメラによる)

図1 新島 観測点配置図

GNSS 基線は図3の に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成27年11月分)は平成27年12月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています(承認番号:平26情使、第578号)。

【計数基準の変遷】
 A型地震
 2010年10月1日(観測開始)～ 瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内
 BH型地震
 初期 2010年8月2日～2013年9月30日 瀬戸山南振幅0.8 μ m/s以上
 変更 2013年10月1日～ 瀬戸山南振幅4.0 μ m/s以上

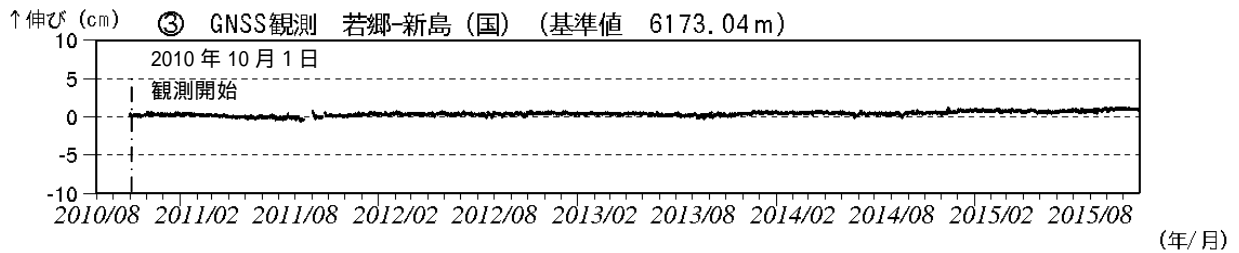
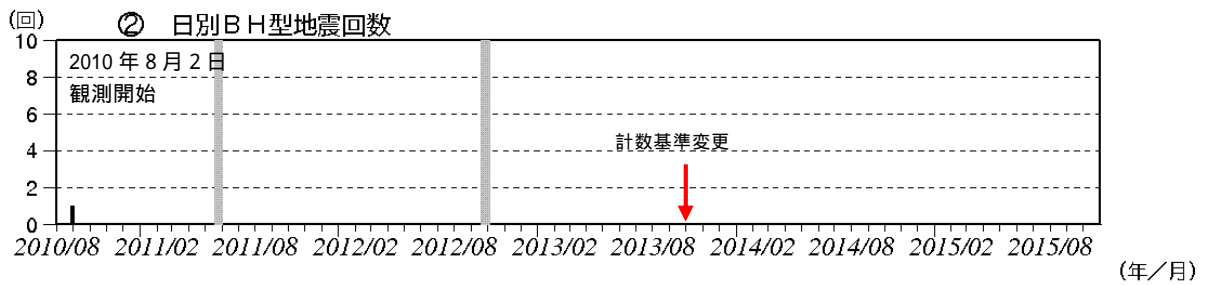
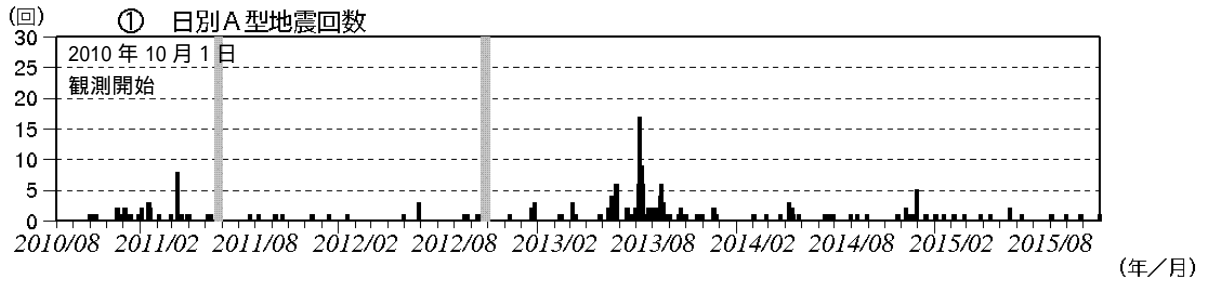


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2015年10月31日)

新島周辺の日別地震回数

・ 図の灰色部分は機器障害のため欠測を示します。

GNSS連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院

・ は図1のGNSS基線 に対応しています。

・ グラフの空白部分は欠測期間を示します。

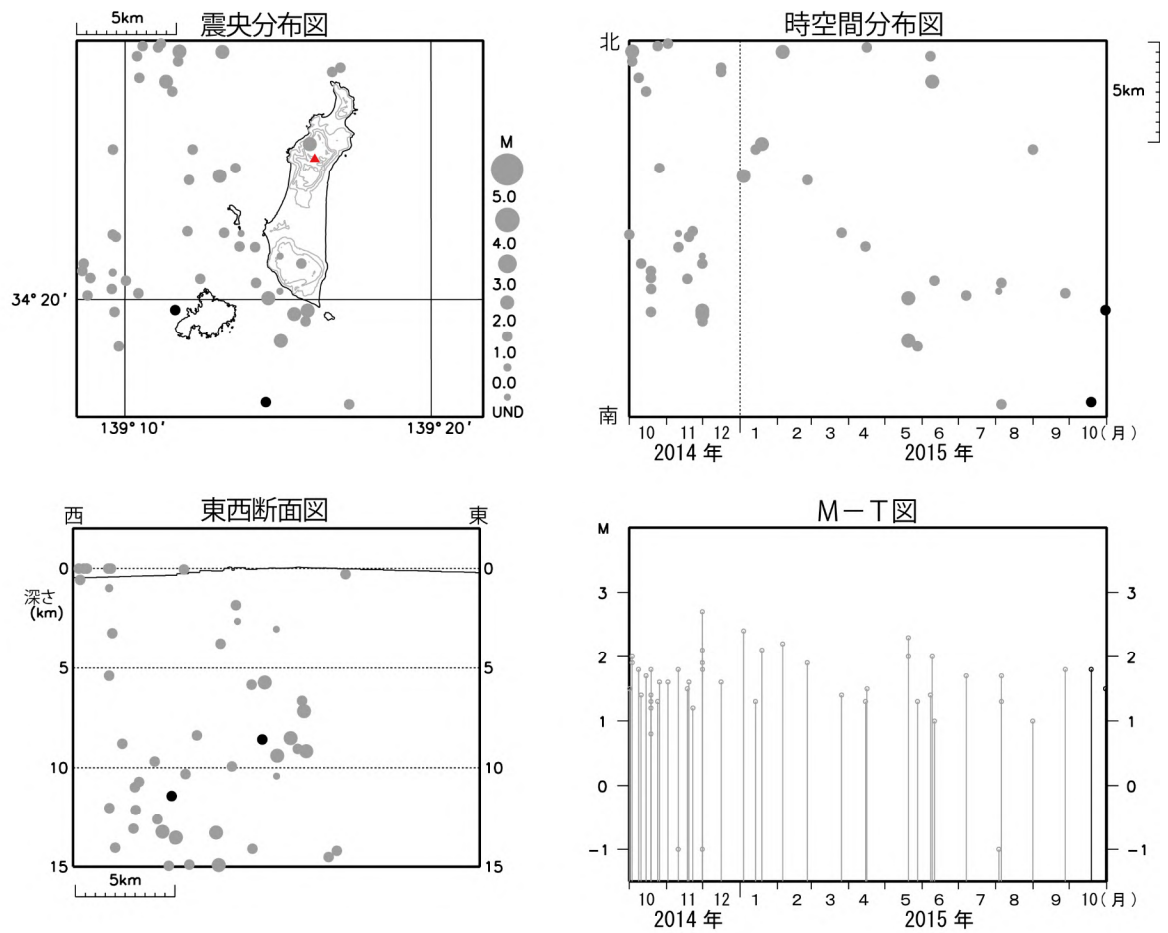


図4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2014年10月1日~2015年10月31日)

：2014年10月1日~2015年9月30日 ：2015年10月1日~10月31日

M(マグニチュード)は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

計数対象(瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内)以外の地震が含まれるため、図3 - の日別A型地震回数とは異なります。